



こうやって作る

木の学校

～ 木材利用の進め方のポイント、工夫事例～



文部科学省
農林水産省



はじめに

学校施設は、児童生徒の学習の場であると同時に、一日の大半を過ごす生活の場でもあり、それにふさわしい豊かな環境として整備することが求められます。

木材は、やわらかで温かみのある感触、高い吸湿性などの優れた性質を持っており、この性質を活用した木造校舎や、内装に木材を使用した教室等は、豊かな教育環境づくりを行う上で大きな効果が期待できます。また、木材の使用は、地球温暖化防止への貢献、地域の文化の継承などの観点からも、大きな意義があります。

このため、従来から文部科学省では、林野庁とも連携しながら、木材を活用した学校施設づくりに関する事例集の作成や講習会の実施により、地方公共団体が学校施設への木材利用に積極的に取組めるよう普及啓発し、また、木材を使用した学校施設の整備に対して国庫補助を行うなど、様々な措置を講じてきました。近年、木造で建設される公立学校施設の割合は毎年度徐々に増加しており、非木造の公立学校施設についても内装木質化が行われています。

平成 19 年 12 月には、木を活用した学校施設の整備に関する手引書「あたたかみと潤いのある木のある木の学校 早わかり木の学校」を作成しました。計画から建設後のメンテナンスまで、木材を活用した学校施設づくりにかかる留意点について解説しています。当該手引書の活用により、学校施設における木材利用が更に進められつつある一方、初めて木材利用に取組む地方公共団体の職員にとっては、具体的にどう検討を進めるべきかが分からず、実際に木材利用に取組むのは、ハードルが高いとの声が聞かれることも少なくありません。

こういった状況を鑑み、平成 21 年 7 月に文部科学省と林野庁が共催で「学校の木造設計等を考える研究会」を開催し、木材利用に取組みやすくする方策について検討してきました。その成果として、上記手引書の内容を踏まえつつ、主に地方公共団体の職員を対象に、特に課題として挙げられている木材利用の検討の進め方や、コストの抑制の方法を中心に、その留意点や工夫した取組事例をまとめました。

木材利用の取組は、地域の実情に応じて進め方が異なります。他の地方公共団体の取組や工夫の仕方から、参考となる情報を見つけ出していきたいと考えています。

今後の学校施設づくりにおいて、上記手引書等に加え、この工夫事例集が十分に活用され、木材を活用したあたたかみと潤いのある学校施設づくりが一層進展することを期待します。

最後に、研究会への参加、原稿執筆等の協力をしていただいた委員の方々、原稿執筆していただいた地方公共団体の職員の方々に感謝の意を表します。

平成 22 年 5 月

目次

はじめに

1 . 学校施設への木材利用の現状と取組 1

- ✔ 学校施設の木材利用の経緯と国の取組
- ✔ 木造学校施設の耐震化の状況

2 . 木材利用の意義と効果

(1) 教育的効果の向上 5

- ✔ 心理・情緒・健康面への効果
- ✔ 室内の温熱環境等の向上
- ✔ 環境教育・木を生かした学習

(2) 地球環境への配慮 18

- ✔ 地球温暖化防止への貢献
- ✔ 間伐材利用による京都議定書の目標達成への貢献
- ✔ 持続可能な木材利用による森林整備への貢献
- ✔ 地域材活用による効果

(3) 地域の風土、文化への調和 23

- ✔ 大工技術者の育成、地場産業の活性化
- ✔ 文化の継承、景観形成

3 . 木材利用を進めやすくするための方策

(1) 木材利用の目的の明確化と共通理解 27

- ✔ 木材利用の目的の明確化
- ✔ 関係者による検討組織で共通理解を図る
- ✔ 関係者間の合意形成

(2) 地方公共団体としての木材利用推進体制の構築 32

- (取組事例) 岩手県遠野市
- 佐賀県
- 秋田県
- 愛媛県

(3) 木材を利用する学校づくりの進め方 37

- ✔ 木材利用を行うための条件の検討
- ✔ 事業を進める上での留意点
- ✔ 主に市町村有林を伐採して利用する場合 58

- (取組事例) 栃木県茂木町立茂木中学校
- 長野県川上村立川上中学校
- 佐賀県佐賀市立小中一貫校北山校
- 福井県南越前町立今庄小学校

- ✔ 主に地元の森林を伐採して利用する場合 67

- (取組事例) 新潟県妙高市立新井小学校
- 岐阜県高山市立中山中学校
- 福島県会津美里町立宮川小学校

